

2022（令和4）年度 直鞍次世代産業研究会総会

（議案）

- ・ 第1号議案：2021（令和3）年度 事業報告
- ・ 第2号議案：2021（令和3）年度 決算報告
- ・ 第3号議案：2022（令和4）年度 事業計画（案）
- ・ 第4号議案：2022（令和4）年度 預算（案）
- ・ 第5号議案：2022（令和4）年度 組織（案）
- ・ 添付資料：会員名簿（2022年4月21日現在）

(1)月例役員会及び例会の開催

○各月第1木曜日を定例役員会予定日とし開催した。

役員会議事の概要をホームページに掲載し情報発信した。

○各月第3火曜日を例会予定日としていたが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、会員が集まつたセミナーや視察会等の開催は見送った。

開催期日	テ　ー　マ	概　　要
5月13日	令和3年度書面総会 (役員会)	書面回答率75.9%、議案同承認率72.4%であり、役員会で議案の承認を確認 議案：役員改選・事業実績・決算及び事業計画・予算の承認
5月13日	総務・情報	「新型コロナウイルス対策支援一覧」を次世代HPへの登録を継続
5月19日	次世代組織人財	「次世代夢プロジェクト」第1回分科会開催 (以降分科会開催：第2回6/2、第3回6/18、第4回6/29)
7月 8日	次世代組織人財	「次世代夢プロジェクト」応募期間、応募方法決定
8月 2日	次世代市場研究	8月例会「研究会新規入会企業紹介と意見交換会」
9月21日	次世代組織人財	「次世代キッズプログラミング教室」第1回分科会開催 (以降分科会開催：第2回9/21、鞍手高校打合せ9/24、第2回9/30)
9月24日	次世代組織人財	「キッズプログラミング教室」開催日時決定
9月28日	次世代事業化	Webセミナー「アフターコロナを見据えたDX改革 ～デジタル技術による業務やビジネスの変革～」
10月 7日	次世代組織人財	「次世代夢プロジェクト」作品審査会
11月 8日	次世代組織人財	「次世代夢プロ」受賞作品展示 直方イオン11/8-14,直方市役所11/15-24 「次世代夢プロ」各賞の表彰式（会長賞含む6賞7作品）11/9-22
11月28日	次世代組織人財	「キッズプログラミング教室」開始 (11/28, 12/5, 12/26)
1月24日	次世代事業化	「新年講演会・情報交換会」(自動車研究会と合同) コロナで中止

(2)2021(令和3)年度書面総会の開催

2021(令和3)年度書面総会の結果について

- ・送付(会員・賛助会員) : 4月21日(水)
- ・FAXによる回答締切 : 5月11日(火)
- ・結果 : 回答率 75.9% (22/29)
議案承認率 72.4% (21/29)

(公印省略)

令和3年 4月19日

会員各位

直鞍次世代産業研究会
会長 藤永 勝巳

2021(令和3)年度 直鞍次世代産業研究会総会の書面開催について

春色和やかな季節、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、大変ご多忙の時期ではございますが、日々の業務に邁進されていることと拝察いたします。

さて、今年は総会を開催することとしておりましたが、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑みますと、役員会において、近々の実施については不可能と判断いたしました。

つきましては、昨年度に続き異例でありますが、書面にての開催といたしましたので、同封の議案資料をご査収の上、書面決議書の返送方、よろしくお願ひいたします。

なお、本年度計画しております各事業につきましては、今後の状況を見ながら実施する事としておりますのでよろしくお願ひいたします。

直鞍次世代産業研究会
事務局 中村裕章
電話 0949-22-0575

令和3年 月 日

直鞍次世代産業研究会総会の書面決議書

直鞍次世代産業研究会
会長 藤永 勝巳 様

会員企業名 _____
氏 名 _____ 印 _____

私は、2021(令和3)年度 直鞍次世代産業研究会総会における下記議案について次の通り表決します。

記			
議案番号	議 案	賛 成	反 対
第1号議案	2020(令和2)年度 事業報告		
第2号議案	2020(令和2)年度 決算報告		
第3号議案	2021(令和3)年度 事業計画(案)		
第4号議案	2021(令和3)年度 予算(案)		
第5号議案	2021(令和3)年度 組織(案)		

* 添付資料 : 会員名簿 (2021年4月19日現在)

※ 各議案について、賛成・反対のいずれかに「○」印で表示して下さい。
 署名・押印のうえ、5月11日(火)までに
 FAX (0949-22-2700)にて
 ご返送を賜りたくお願い申し上げます。

(3) 取り組んだ主な事業

①次世代に活躍する人財育成支援

①－1 「次世代夢プロジェクト2021」の実施

- ・直鞍地域の次世代を担う小中学生を対象に、より暮らしやすく、地域が発展する夢のあるアイディアを募集し、優秀作品を顕彰する事業を継続して展開。
 - ・直鞍地域 22 校から 363 点の応募があり、内 25 作品を顕彰した。
 - ・顕彰作品については、イオンモール直方、直方市役所で展示し一般公開した。



表彰式



作品展示(直方市役所)



嘗審查



作品展示(イオンモール直方)

「次世代夢プロジェクト2021」の広報・報道関係

**次世代夢プロジェクト
「もったいない！」を
なくそう!!**

市報のおがた 令和3年8月1日号

直方商工会議所ニュース 2021年8月号

直轄地区的国庫公債券の償還問題は、世代交替研究会（藤水謙一郎会長）が地区の小中学校教員を対象に算出した「扶貧割合」（プロジェクト・ツー）の実績と併せて、貯蓄品がまだ貯まらない家庭や周囲で「もったいない」といふ声が聞こえてくる。一方市役所に恩恵がない。本年度限りの回目「任天堂」で、この問題を解説する。

が続いたためのアヂアを奪
り、方第三年中の22校から3
校に寄せられた。そこで、
方第三年中の青沢紗栄子が
全会員賞を受賞した。直
後に、(3)は、使わなくなつた
ラジオに寄付することを提
案し、(4)に同様を表彰を受
け、「外国には学校で教
育を行なう子どもが多いこと
を海棠で知った。私にでき
ることは何をを考えた」と
セントラル賞、編田(小5年)
と興センターランド賞(中2年)
(高木芳美)が選ばれた。

西日本筑豊版

小中学生のアイデア募る

直鞍地域 次世代夢プロジェクト

直轄地域の企業などにつくる直轄次世代産業研究会などは、小中学生からより良いまちづくりへのアイデアを募る「次世代夢プロジェクト」を今年も行う。「自分のまわりの『もったいない!』をなくそう!」がテーマで、応募作品を募集している。

同プロジェクトは、子どもたちの創造力を育み、地域への関心を持つてもらおうと、同研究会と直轄事業振興センターが毎年、テー

マを変えて実施。今年は①まち②家③学校——で「もったいない」と感じることを探し、有効活用へのアイデアを提案してもらう。

直轄地域に住む小中学生が対象。応募用紙に必要事項を記入し、絵や写真を使ってアイデアを解説する。最優秀作品と入賞作品を選んで表彰する。応募の締め切りは17日。問い合わせは直轄情報・産業振興協会内の事務局(0949-22-0575)へ。

讀売新聞 朝刊
筑豊版 2021.9.6

毎日新聞 朝刊
筑豊版 2021.11.23

西日本新聞 朝刊 筑豊版 2021.11.17

讀売新聞 朝刊
筑豊版 2021.11.24

①－2 「次世代キッズプログラミング教室」の開催

直鞍地域の小学校高学年生とその保護者を対象に、コンピュータがどのように動いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待し実施。

キッズプログラミング教室 参加者募集!! ~みんなはまちのプログラマー~



直鞍次世代産業研究会では地域貢献活動の一環として、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取組みを行っています。これまで実施してきたものづくりアイデア募集の「夢プロジェクト2021」の他に、これから子供たちに必要なされるITの力を養うための支援事業を行います。この事業を通じて、コンピュータがどのように動いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。
(新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、中止になることがあります。)

※写真のmicro:BITを使って初歩的なプログラムから体験していきます。
※センターとして鞍手高校のSSH部（科学部）の皆さんにお手伝いしてくれます。
※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直鞍地域の小学校4・5・6年生とその保護者
【応募期間】2021年11月19日（金）締切り
【応募条件】・保護者が同伴できること。
　・インターネットができるパソコン（Windows10以上を推奨）を持参できること。（会場はWiFi環境を備えています。）
　・3回とも参加可能のこと。
【募集定員】20組（応募多数の場合は抽選になります）
【開催日時】（期日は変更になる可能性もあります。）
　第1回目：11月28日（日）10:00～12:00
　第2回目：12月5日（日）10:00～12:00
　第3回目：12月26日（日）10:00～12:00
【会場】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）
　直方市植木849-1 ホームページ：<https://adox.jp>
【参加費用】1,000円／一組（micro:BITを1台支給します）
【お問合せ先】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：中村）
　TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700
　E-mail:kids-pro@adox.jp <https://adox.jp/kids-programming>
【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailで受け付けます。

主催：直鞍次世代産業研究会
 共催：直方市、直鞍産業振興センター
 後援：直方市・宮若市・小竹町・鞍手町各教育委員会

応募チラシ

表 事業内容および参加組数

回 数	参加組数 (人数)	内 容
1回目	16(32)	micro:bitボードについての基礎、基本表示、センサーの利用
2回目	16(32)	外部出力、無線通信、おまけ
3回目	14(28)	総合演習（復習）、みんなが作ったものの発表など
延計	46(92)	

○ 成 果

- 3回目の発表会においては4組が発表し、音楽とLEDをシンクロさせたプログラムなど、小学生とは思えないほどの発表と作品を参加者の前で公表した。
- 3回目後半では、「ラジコンカープログラム」を作成し試走を行った。各保護者のアンケートでは、子供自身がプログラミングに興味を持ち、自ら行動することを覚え能動的になった等の意見が多くかった。
- 鞍手高校SSH部の連携支援も得られ、高校生の地域貢献活動としても役に立った。

SSH：スーパーサイエンスハイスクール

6

「次世代キッズプログラミング教室」の広報・実施状況

次世代キッズプログラミング教室開催!!

IT企業スタート講義 IT企業リモート参加
鞍手高校SSH部 SSH部よりサポート

11月28日から3回のキッズプログラミング教室を開催しました。本年度は研究会に新たに入会されたIT企業様にも、「スタート講義(プログラミングとは?)」「リモート参加」を行って頂きました。

教室は今年も鞍手高校SSH部の協力を頂き、学生のサポートを受けながら順調に進みました。また3回目では、発表会やラジコンカーゲーム等でプログラムの楽しさを知り盛り上りました。

問い合わせ先:事務局 0949-22-0575(中村)

直方商工会議所ニュース 2022年1月号

子どもたちがプログラミングに挑戦

これからの中学生たちに必要とされるITの力を養うため、「次世代キッズプログラミング教室」が11月28日、12月5日、26日に開催されました。これは直轄次世代産業研究会が主催する地域貢献活動の一環で、地域を担う子どもたちの創造力を培う取り組みです。

参加したのは直轄地域の小学4年生から6年生までの児童で、計3回の教室を開催し、鞍手高校SSH部の協力のもと楽しくプログラミングを習いました。最終回では、参加児童が制作したプログラミングの発表が行われ、ロボットカーの操縦などを実践しました。この教室が、未来を担う子どもたちにとって、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得や自己学習のきっかけとなることを願っています。



市報のおがた令和4年2月1日号



研修状況



SSH部のサポート



IT企業のリモート講義



発表者



スラローム



鞍手高校教諭・部員への御礼

②セミナー等の実施

- ・次世代研究会の例会として、「次世代研究会新規入会企業（IT関連企業）の紹介と意見交換会」を開催した。また、新型コロナウィルスの影響による「働き方改革」を模索するため、(公財)日本電信電話ユーザ協会福岡支部開催のWebセミナーを会員へ周知すると共に、自動車産業研究会等とも連携開催を行った。

②-1 8月例会

日 時：2021年8月2日(月) 17:00～18:00

場 所：直鞍産業振興センター（A D O X別館） 研修室

入会企業：株式会社アリオンシステム
株式会社ネビジョン

参加者：14名

株式会社アリオンシステム
パンフレット



株式会社ネビジョン
パンフレット



②-2 Webセミナー

日 時：2021年9月28日(火) 14:00～15:30 Zoom、10月6日までYouTube配信

配 信：Zoomウェビナー（YouTubeでも配信）

演 題：「アフターコロナを見据えたDX改革」

～デジタル技術による業務やビジネスの変革～

講 師：西脇 資哲（ニシワキ モトアキ）氏

（日本マイクロソフト株）業務執行役員

90分程度

エバンジェリスト)

ICTビジネス活用セミナー in 九州 (zoomウェビナー)

日時 2021年9月28日(火) 14:00～15:30

**アフターコロナを見据えた DX 改革
～デジタル技術による業務やビジネスの変革～**

最近、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉をよく聞くようになりました。これからの時代、私たちのビジネスや生活にどのように関わっているのか、またどのように対応するべきなのかわかりやすく解説します。講師の西脇先生は、わかりやすく楽しい話題でプレゼンの講師としても活躍する大人気の講師です。ぜひご参加くださいませ。



日本マイクロソフト(株)業務執行役員 エバンジェリスト
にしわき もとあき
西脇 資哲 氏

1969年8月18日生まれ、秋田県出身。日本デジタルトランスフォーメーション推進協会 アドバイザー、IT ビジネスコミュニケーション協会 理事。京都大学 IPS 研究研究所 コミュニケーションアンドバイザー。
1995年より外資系ソフトウェア企業である日本オラクルに入社。その後、2009年12月にマイクロソフトへ移籍。マイクロソフト製品すべてを扱うエバンジェリストとして活躍。また、IT業界屈指のプレゼンター・コンサルタントでもあり日本経済新聞でもカリスマエバンジェリストとして紹介。著名人のプレゼンテーション指導にも携わり、関連著書も多数。さらに IT業界だけではなく様々な業界でのエバンジェリスト活動を推進している。

お問い合わせ
(公財)日本電信電話ユーザ協会福岡支部
092-410-4151

申込締切日
2021年9月23日(木・祝)

申込方法
右のQRコード、もしくは以下のURLよりお申込みください
<https://rod.m.com/210928/7293.html>



録画配信予定
Coming Soon
セミナー模様は録画配信予定（期間限定）
下記ユーザ協会福岡支部ホームページでご案内します
<https://www.pi.jtua.or.jp/fukuoka/>

オンラインセミナーへの申込みから当日の参加まで

スマートフォンやタブレットでのご参加も可能です。

- 1 申込み
申込サイトの「参加希望フォーム」より必要事項を送信
- 2 申込締切後
9/24(金)頃
セミナー登録確認メールが届く
セミナー登録確認メールが届く
- 3 前日
リマインダーメールが
届く
セミナー登録確認メールが届く
セミナー登録確認メールが届く
- 4 当日
伊田案内メールもしくは
リマインダーメール
セミナー登録確認メールが届く
セミナー登録確認メールが届く
※30分前から入室可能

スマートフォン、タブレットでご参加の方は、事前に「ZOOM Cloud Meetings」のアプリをダウンロードして下さい。
iPhone の場合は「App Store」、Android の場合は「Google Play」からダウンロードできます。

登録フォームにて記入いただいた個人情報は、「セミナーの情報提供」に関する業務のみで使用されます。

<セミナーに関する注意事項>

本セミナーはインターネットで開催されるオンラインセミナーです。「Zoom」のアプリを使用します。
・通信料を消費します。スマートフォンの場合はWi-Fi環境での接続を推奨いたします。充電でもございません。
・本セミナーは、少人数参加のセミナー、オンラインセミナー及びワーキングセミナーの運営として用意、操作するものといたします。
・当セミナーは、少人数参加のセミナー、オンラインセミナー及びワーキングセミナーの運営として用意、操作するものといたします。
(1) 受講者が複数名いる場合、複数名のアカウントでの登録、複数のアカウントでの受講となります。本セミナーを複数でないもしくは複数で受講できない場合、
(2) 受講者が複数名いる場合、複数名のアカウントでの登録、複数のアカウントでの受講となります。本セミナーを複数でないもしくは複数で受講できない場合。
・インターネット接続等に関するトラブルの原因、状況等により本セミナーを受講できない場合は、受講できません。

アフターコロナを見据えたDX改革

～デジタル技術による業務やビジネスの変革～

1. ICTとは何か？

2.これらによって引き起こされる時間軸の変化

3. DX デジタルトランスフォーメーションとは？

4. ビッグデータが世界を変える

5. ビッグデータを生み出す Internet of Things

6. AI・人工知能による予測が現場を変える

7. AI・人工知能による「画像認識」

8. AI・人工知能による「人物認識」

9. AI・人工知能による環境保護の支援

10. 積極的にデジタル化の補助金 助成金を活用

11. 10年後の社会を創るために

(4)事業の総括

- 夢プロジェクト事業は、本年度応募方法として「紙(アナログ)」と新たに「電子(デジタル)」を追加して応募を行った。しかしながら応募は「紙」のみであり、「電子(デジタル)」方法の困難化も有ると考えるが、デジタル化への遅れを感じた。
応募数は集中的に取り組んで頂いた直方市中学校が多く、応募数は昨年の2倍となつたが、直方市外の学校は応募が少なく次年度に向けてPRのため昨年に引き続き各教育委員会へ報告書を提出した。
- 「次世代キッズプログラミング教室」はアンケート結果を見ても好評であり、令和3年度も次世代の人財育成に注力し継続を行つた。小学校でのプログラミング教育が開始され、参加者のプログラミングに対する意識も高く、最終回の発表会では4組が小学生とは思えないほどの発表と作品を公表した。
また、鞍手高校との連携も出来、今後につながる取組となつた。令和4年度の取組み継続も検討する必要がある。
- 情報発信については令和元年度よりホームページの内容を見直し、毎回の役員会、定例会の概要を掲載するようにした。令和2年度よりホームページ内に、新型コロナウィルス対策支援一覧を掲載し都度更新を行つた。今後も情報発信コミュニケーションのツールとして充実させる必要がある。
- コロナ禍に於ける研究会の新たな取組を探るため、会場を用いた勉強会・セミナーを行わず、Webセミナー形式での発信を行つた。また、先進機関等の視察会の計画を行つたが、受け入れ機関でのコロナ感染やコロナ禍での視察受け入れ機関が無く視察研修会が行えなかつた。令和4年度はWebやコロナ低迷期における展示会活用を充実させ、コロナ禍においても会員が多く参加できる企画を行う必要がある。

第2号議案

2021(令和3)年度直鞍次世代産業研究会一般会計決算

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C-B)	
入会金	0	20,000		02社入会
正会員会費	354,000	348,000	△ 6,000	28社(29名)(9/1日現在)、会費減額(1/2)、9月1日1社(前期分納入・退会)
賛助会員会費	25,000	20,000	△ 5,000	8社(4/1日現在)昨年度末2機関退会、会費減額(1/2)
雑収入	200,000	16,008	△ 183,992	徴収会費、預金利息を計上
前年度繰入金	880,702	880,702	0	
合 計	1,459,702	1,284,710	△ 174,992	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C-B)	
総務	450,000	86,391	△ 363,609	コロナ禍のため総会、新年会・情報交換会無 コピー機使用料、お茶代、郵送費、その他
次世代市場研究費	150,000	0	△ 150,000	コロナ禍のため会員が集まっての講演会無
次世代事業化事業費	350,000	0	△ 350,000	合同セミナーはWeb、企業見学会は休止中
次世代組織人財事業費	240,000	326,604	86,604	夢プロ：直方イオン展示パネル借用・設営費 キッズプロ：micro:bit半導体不足で価格高騰
研究会情報提供事業費	140,000	124,135	△ 15,866	ホームページ維持・更新、商工会議所ニュース掲載料
産業振興費	20,000	0	△ 20,000	わくわーく(2021年度は無)
視察研修助成金	0	0	0	
記念事業費	0	20,000	20,000	入会金は周年(記念)事業に充当
予備費	109,702	0	△ 698,336	
合 計	1,459,702	557,130	△ 902,572	
収支差額	0	727,580	727,580	次年度繰り越し

2021(令和3)年度直鞍次世代産業研究会特別会計決算

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費（前年度積立金）	2,307,534	2,307,534	0	
記念事業費（当年度積立金）	0	20,000	20,000	新規入会2社分 入会金は周年(記念)事業に充当
預金利息	197	189	△ 8	予定期利の低下
合 計	2,307,731	2,327,723	19,992	

2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費（前年度積立金）	935,991	935,991	0	
観察研修助成費（当年度積立金）	0	0	0	
預金利息	80	46	△ 34	予定期利の低下
合 計	936,071	936,037	△ 34	

監査報告書

直鞍次世代産業研究会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度に関し、事業の実施及び会計の状況について監査を行ったので下記のとおり報告する。

記

1. 監査期日

令和4年3月17日(木)

2. 監査場所

直鞍産業振興センター別館内

3. 監査結果

事務局から事業実施の状況及び収支計算書、領収書、預金通帳などを基づく会計処理の状況について説明を受け、監査を行った。

その結果、いずれについても適正に執行、処理されていた。

令和4年3月17日

監査役 田代一郎 

以上

第3号議案

2022(令和4)年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、2021年度に取組んだ事業の成果・反省を踏まえ、次世代を担う人財育成事業や次世代の組織・企業のあり方を研究し、参加企業の発展と地域振興を目的とした調査・研究・事業の実施に取組む。また、コロナ禍に於ける事業実施方法を会員・賛助会員へのアンケート結果を反映し、展示会やセミナーへの参加を企画する。新たな取り組みを探るためWebを用いた活動を充実させ、いち早く新事業やニーズへの情報提供、本会の活動の発信を持って地域外企業・団体・自治体とのマッチングも進めていく。次世代に向けての企業活動が迅速かつ円滑に進められるよう自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

(1) 次世代市場研究事業

- ・新技術、新サービス等に関する先進事例視察研究、セミナー等の開催

(2) 次世代事業化事業

- ・社会課題などタイムリーな展示会への参加を企画し、製品見学やセミナー参加を行う
- ・コロナ禍に於ける研究会として新たな取り組みを探るため、Webを用いた活動を充実させる
- ・研究会独自の新規事業に取り組む ①新規事業:ソーシャルビジネスへの取り組み(SDGs・ESG・RPA)

(3) 次世代組織人財事業

- ・次世代の人財育成に資する取組みや企業人財の高度化に関する勉強会の実施
 - ・夢プロジェクトの実施
 - ・キッズプログラミング教室の実施

(4) 研究会情報事業

- ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信

(5) 産業振興ビジョン等支援事業

- ・のおがた「わくわーく」への支援

(6) 視察研修助成金事業

【新規事業として取り込む環境】 ソーシャルビジネスへの取り組み

・ S D G s



持続可能な開発目標とは17のグローバル目標と169のターゲットから成る国連の持続可能な開発目標。2015年9月の国連総会で採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』と題する成果文書で示された2030年に向けた具体的行動指針。

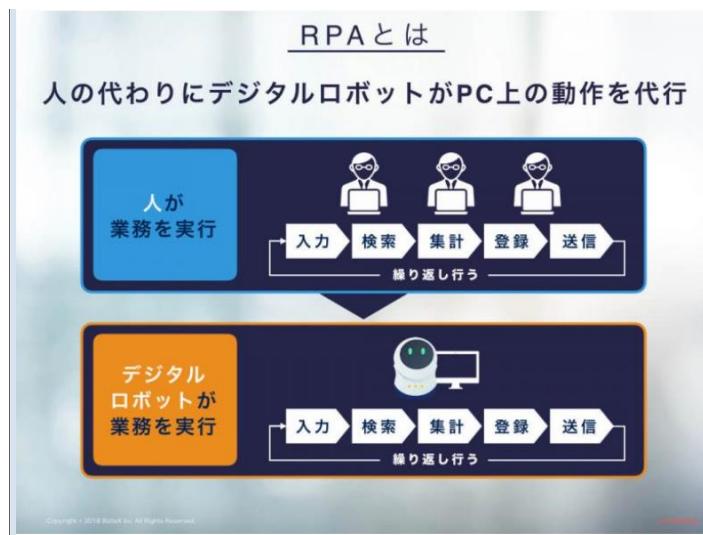
・ E S G

近年、ESG投資というキーワードをよく目にすることが多くなってきています。
ESG投資とは、環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資です。
ESG評価の高い企業は事業の社会的意義、成長の持続性など優れた企業特性を持つと考えられます。

ESGとは企業が社会に対し負う責任



・ R P A



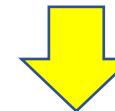
RPA (Robotic Process Automation)とは、簡単にいうと「人間の代わりに業務をこなしてくれる自動化ツール」のことです。

夢プロ、キッズプロの重要性

直鞍地域の次世代の形成のために



できるだけ多くの付加価値を生む資源の持続・発展・創成



産・官連携

社会問題

体験

情報

地域と産業
が進化し持続
させる気概

新たな環境
新たな資本
を活用できる

新たな価値
新たな社会を
想像できる

人材育成

IT・DX

地域課題

機会

これらをもらい物ではなく、自分で考え、経験・堆積させることが重要。その次世代の地域人材育成が夢プロとキッズプロである

第4号議案

2022(令和4)年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	2021年度予算 (A)	2021年度決算額	2022年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
入会金	0	0	0	0	
正会員会費	354,000	348,000	342,000	△ 12,000	28社(29名)、会費減額(1/2)
賛助会員会費	25,000	20,000	20,000	△ 5,000	8社、会費減額(1/2)
雑収入	200,000	16,008	50,000	△ 150,000	預金利息、徴収会費を計上
研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
前年度繰入金	880,702	880,702	727,576	△ 153,126	昨年度繰越金
合 計	1,459,702	1,284,710	1,139,576	△ 320,126	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	2021年度予算 (A)	2021年度決算額	2022年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
総務	450,000	86,391	370,000	△ 80,000	
次世代市場研究費	150,000	0	100,000	△ 50,000	
次世代事業化事業費	350,000	0	170,000	△ 180,000	コロナ禍で会費半額のため
次世代組織人財事業費	240,000	326,604	200,000	△ 40,000	「予備費」が減少
研究会情報提供事業費	140,000	124,135	140,000	0	支出を会費に見合った形に
産業振興費	20,000	0	10,000	△ 10,000	整え策定
視察研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	20,000	0	0	
予備費	109,702	0	149,576	39,874	次年度繰越予定
合 計	1,459,702	557,130	1,139,576	△ 320,126	
収支差額	0	727,580	0	0	

2022(令和4)年度特別会計予算(案)

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	2021年度決算額 (A)	2022年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金残高)	2,307,534	2,327,723	20,189	2021年度2社新規入会
記念事業費(当年度積立金)	20,000	0	△ 20,000	
預金利息	189	46	△ 143	2022年度予定利息を考慮
合 計	2,327,723	2,327,769	46	

2. 観察研修助成金基金

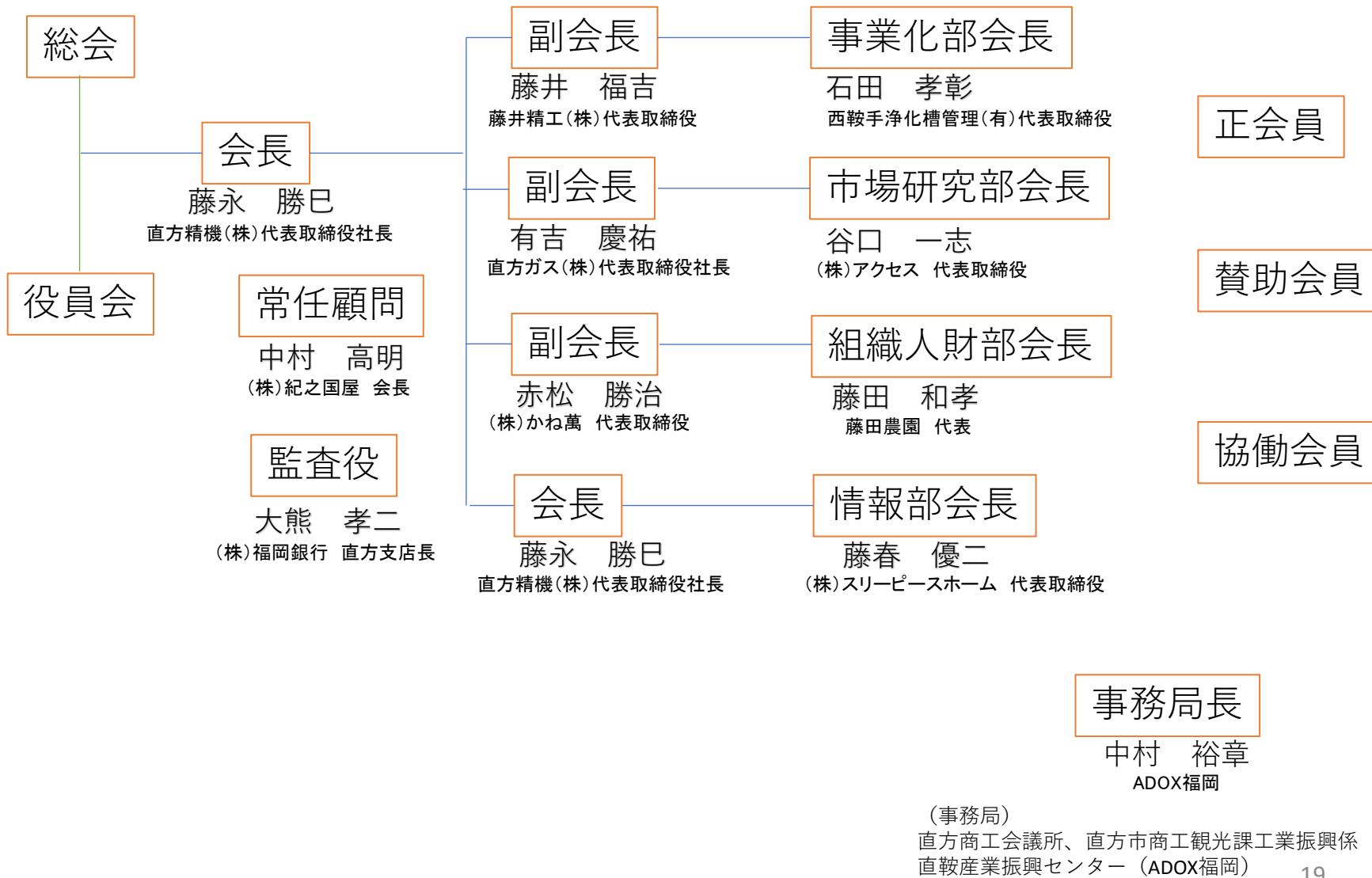
(単位:円)

勘定科目	2021年度決算額 (A)	2022年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費(前年度積立金)	935,991	936,037	46	435,899円 定期預金 500,138円 普通預金
観察研修助成費(当年度積金)	0	0	0	
預金利息	46	13	△ 33	2022年度予定利息を考慮
合 計	936,037	936,050	13	

第5号議案:2022(令和4)年度

直鞍次世代産業研究会 組織図(案)

2022年4月1日改定



2022/4/21

正会員		会 社 名	役 職 名	氏 名
会長	次世代情報担当 1	直方精機 株式会社	代表取締役社長	藤永 勝巳
副会長	次世代事業化担当 2	藤井精工 株式会社	代表取締役	藤井 福吉
副会長	次世代市場研究担当 3	直方ガス 株式会社	代表取締役社長	有吉 慶祐
副会長	次世代組織人材担当 4	株式会社 かね萬	代表取締役	赤松 勝治
常任顧問	5 株式会社 紀之国屋		会長	中村 高明
	6 株式会社 石橋製作所		代表取締役社長	石橋 和彦
	7 株式会社 ウチダ		取締役統括部長	大原 大平
	8 株式会社 紀之国屋		代表取締役社長	中村 大志
	9 株式会社 ケイ・イー・エス		代表取締役	飯野 一義
	10 株式会社 さかい家具		代表取締役社長	坂井 宏太郎
	11 有限会社 ゼロテック		代表取締役	中島 太
	12 株式会社 田中信鉄工所		代表取締役	田淵 元悟
	13 株式会社 谷弥		代表取締役社長	谷 弥壽彦
	14 株式会社 旅ランド		代表取締役	石田 和弘
	15 株式会社 築豊産業		常務	小野 龍平
	16 株式会社 東洋プレシジョン		専務	大森 大輔
	17 株式会社 トラベルハート		代表取締役	藤井 利春
	18 福岡金属興業 株式会社		代表取締役社長	横溝 淳弥
	19 株式会社 フクモト工業		代表取締役	福本 満寿男
	20 車田鉄工 有限会社		代表取締役	車田 淳一
	21 有限会社 渡辺鉄工		代表取締役会長	阿比留 恒之
市場研究部会長	22 株式会社 アクセス		代表取締役	谷口 一志
	23 有限会社 おおつか		取締役社長	大塚 政徳
	24 医療法人 健明会		事務長	青見 健志
情報部会長	25 株式会社 スリーピースホーム		代表取締役	藤春 優二
事業化部会長	26 西鞍手浄化槽管理 有限会社		代表取締役	石田 孝彰
組織人財部会長	27 藤田農園		代表	藤田 和孝
	28 株式会社 アリオンシステム		直方営業所長	魚住 健二
	29 株式会社 ネビジョン		代表取締役	清水 良彦

賛助会員		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1 アドバンテックテクノロジーズ 株式会社		取締役	越智 隆義
	2 トヨタ自動車九州 株式会社		副社長	橋本 克司
	3 株式会社 西日本シティ銀行 直方支店		支店長	有松 光浩
監査役	4 株式会社 福岡銀行 直方支店		支店長	大熊 孝二
	5 株式会社 福岡中央銀行 直方支店		支店長	荒川 裕二
	6 福岡ひびき信用金庫 直方支店		支店長	深見 初彦
	7 北九州市立大学大学院マネジメント研究科		教授	城戸 宏史
	8 直方鉄工協同組合		理事長	吉田 祐司

協働会員		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	福岡県飯塚中小企業振興事務所	所長	柳瀬 智幸
	2	直方市 産業建設部	部長	田中 克幸
	3	直方市 商工観光課	課長	水ノ江 秀子
	5	宮若市 産業観光課	課長	戸井 一晶
	6	直方商工会議所	会頭	谷 弥壽彦
	7	宮若商工会議所	会頭	中田 正夫
	8	小竹町商工会	会長	植村 政人
	9	鞍手町商工会	会長	内田 一美
	10	若宮商工会	会長	塩川 善和
	11	(公財)飯塚研究開発機構	専務理事	間野 彰彦

名誉顧問		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	福岡県	知事	服部 誠太郎

顧 問		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	直方市	市長	大塚 進弘
	2	宮若市	市長	塩川 秀敏
	3	鞍手町	町長	岡崎 邦博
	4	小竹町	町長	松尾 勝徳

アドバイザー		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	経済産業省九州経済産業局 国際部	部長	飛矢崎 峰夫
	2	福岡県 商工部	部長	松本 恭子
	3	(独)日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター	所長	齊藤 健史

事務局		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	直方商工会議所	センター長	岩崎 憲明
	2	直方市 産業建設部 商工観光課	産業イノベーション推進係 係長	米澤 隆司
		"	産業イノベーション推進係	甲斐 蒼生
	3	ADOX福岡	センター長	中野 建次
		"	事務局長	香月 久美子
		"	産業振興課長	中村 裕章

ご審議、 ありがとうございました。

